

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	史跡「北十王堂跡」整備事業
事業主体 (連絡先)	安原地区まちづくり協議会 0263-39-0701
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業 (5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,337,874 円 (うち支援金: 423,000 円)

事業内容

1. 史跡「北十王堂跡」整備工事

廃仏毀釈で散乱している石像文化財12体を一カ所に集め整備した。また工事により出現した埋没石像4体も並べて整備した。



【整備完了】

2. 文化財についての講演会の開催

「松本城下町と十王堂」と題して城下町の歴史と十王堂の成り立ちを視点を変えて2回開催した。第1回講師小松芳郎先生、第2回須貝大二先生。



【第1回】



【第2回】

3. 旭町小学校コミュニティスクールにおける歴史学習

5年生、6年生を対象に各1回計2回開催した。安原地区歴史研究会のメンバーを講師として公民館でまず勉強した後地区内の歴史文化財を見て回り歴史や文化を学習した。



【6年生のコミュニティスクール】

4. ウォーキング事業の活用・マップ作成・記事掲載

整備した「北十王堂跡」写真をウォーキングマップに掲載し市HPのマップを変更した。また地区ウォーキングのコースになっているのでその都度学習した。まちづくり新聞等にも記事を掲載した。



【地区ウォーキングの中の勉強会】

(別記様式第12号) (第3の8関係)



【まちづくり あさば野新聞】



【ウォーキングマップ】

5. 説明看板の作成

「北十王堂跡」(正式には「安原十王堂跡」)に説明看板を設置し地区内外に理解を深めさせ交流のきっかけづくりとなった。



【説明看板】

6. 地区住民による自主活動

「安原地区歴史研究会」が中心となり、北十王堂を含め地区内史跡学習を月1回程度実施した。10月の地区文化祭には展示をして来館者に説明した。



【地区文化祭】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①北十王堂学習の講演会を新たに2回開催した。昨年度は旭町小学校4年生を対象としたコミュニティスクールを1回開催したが、今年度は3年生、5年生、6年生を対象に各1回計3回開催した。参加人数が174人から392人となり、125%増となった。

②上記の中にも安原地区住民が多く参加した。またはつきりした数字にはならないが近隣の方が草取り等の環境整備活動をした。学習活動参加人数132人から328人となり、150%増となった。

③毎月の地区ウオーキングには工事中から見学し整備事業の進行状況を見ることができた。参加者が374人から440人となり、18%増となった。

【目標・ねらい】

- ①学習活動の活発化
- ②地区住民の学習活動・環境整備活動の増加
- ③まち歩き及びウオーキングの増加

※自己評価【A】

【理由】

廃仏毀釈により150年もの間取り壊され放置されていた北十王堂の石造文化財が整備されたことで、東西南北全ての十王堂の整備が完了し、松本城下町の文化遺産として後世に残すことができた。地区住民も地域の歴史にさらに関心を持ち学習意欲が高まった。小学校の通学路であるため小学生から自分の住んでいる地域の歴史を目で見て学習する機会ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

松本城下町の東西南北の出入口として貴重な遺産である十王堂跡のうち唯一放置されていた北十王堂跡を整備したことにより松本城下町の全体像を後世に伝えることができた。この歴史財産を今後も整備保存することで、地域内の子どもたちを始めとして高校生、大学生の若者がこの地域の歴史や文化を知り、この地域への愛着を深めて住民と認識を共有し、強固な絆づくりを推進する。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある